

## 令和四年度鹿屋体育大学卒業証書および 学位記授与式 学長告辞

鹿屋体育大学、体育学部卒業生及び大学院研究科  
修了生の皆さん、本日ここに、卒業証書授与式および  
学位記授与式を迎えられましたことを、心からお喜  
び申し上げます。

昨年に引き続き、令和四年度卒業証書及び学位記  
授与式も、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、  
縮小して開催することとなりました。卒業生および修  
了生をはじめ、参加する皆様の健康、安全を第一に考  
えた結論であることをご理解ください。

卒業生の皆さんは、入学一年後に、コロナ禍による  
パンデミックを経験しました。コロナ禍によって我々の  
日常生活は一変し、皆さんは、パンデミック前との違  
いに、戸惑いや将来への不安を強く抱いたことと思  
います。しかし、そのような状況のなか、皆さんは、日々、  
感染予防のための対策をはじめ、様々な工夫や試行  
錯誤を繰り返しながら、スポーツや武道を実践し、か  
つ学び、本日ここに、卒業証書および学位記を手にと  
りました。

この日を迎えるにあたり、卒業生および修了生の  
皆さんは、ご家族の方々をはじめとする、多くの皆様  
の慈愛あふれるご支援があったことを、感謝の気持ち  
をもつて改めて思い起こしてください。同時に、本学の  
教職員の皆様に、学生諸君に対する日々のご薫陶の  
大きさに対して、心からの感謝の気持ちと敬意を表  
したいと思います。

平成二十三年にスポーツ基本法が公布されて以来、  
我が国では、スポーツを「する」「みる」「ささげる」をキ  
ーワードとする、多様な形でのスポーツへの参画が謳  
われ、スポーツの意義や価値が国民に広く共有される  
よう、様々な施策や企画が展開されています。

皆さんは、これまで「練習や稽古を行う」「あるいは

「試合に出場する」といった、いわばスポーツを「する」  
ということを、日常的に実践することができる環境下  
にあったといえます。これからは、本学の卒業生ある  
いは修了生として、スポーツを「ささげる」はぐくむ」  
ということを常に意識し、行動で示す努力を怠らない  
ください。そして、それを実践する過程において、  
「スポーツが有する価値」には、様々な社会的課題を  
解決することができる、という要素も含まれることを  
忘れないください。皆さんは、四月以降、全国各地  
において、新たな生活を営むこととなります。新天地  
において、本学で得た知識やスポーツ実践のノウハウ  
を十分に活かし、スポーツの力で、社会の活性化に貢  
献されることを期待します。

これからの時代、情報通信技術やテクノロジーのさ  
らなる進歩と、それによる社会の変化に伴い、「スポー  
ツの価値」を測るモノサシは、より一層多様なものにな  
っていくと考えられます。しかし、どのような時代  
であれ、「スポーツの価値」に対する社会の評価は、ス  
ポーツを「する」「みる」「ささげる」のいずれの領域に  
おいても、スポーツに関わる人、一人一人の品位およ  
び倫理観によって大きく左右されることを、決して忘  
れないください。

本日、晴れて卒業証書および学位記を授与された  
皆さんには、時代に即した倫理観を持ち、マナーを持  
つて行動できる社会人として、スポーツの価値を伝え、  
広める役割を担っていただけることを切に願っていま  
す。

最後に、卒業生および修了生の皆さん一人一人が、  
日々、心身ともに健康であり、それぞれが進む世界に  
おいて、より一層充実した毎日を過ごされることを  
祈念し、令和四年度卒業証書及び学位記授与式の告  
辞とします。

令和五年二月二十四日

国立大学法人 鹿屋体育大学

学長 金久博昭